

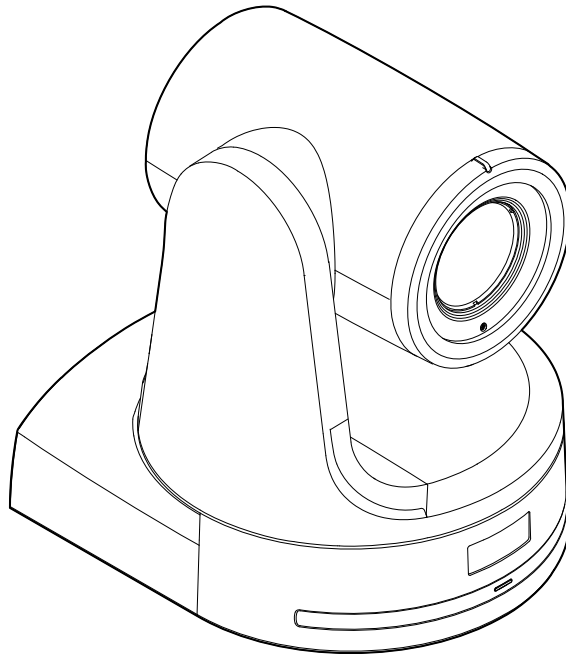
## 施工説明書

HD インテグレートドカメラ

品番 **AW-HE130W**  
品番 **AW-HE130K**

● 説明書の構成について

- 取扱説明書  
本機の操作や設定のしかたについて説明しています。
- 施工説明書（本書）  
本機の設置や施工について説明しています。  
本機を設置する前に必ずお読みいただき、正しく設置してください。



# HDMI

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工・設置してください。

■施工前に「安全上のご注意（施工時）」（4～5ページ）を必ずお読みください。

## ■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Internet Explorer®、ActiveX® および DirectX® は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、OS X、iPhone、iPod Touch、iPad、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Android™ はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## ■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## ■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
- Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 9.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 11.0 日本語版をInternet Explorer と表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-HE130W	AW-HE130
AW-HE130K	
AW-HS50N	AW-HS50
AW-RP50N	AW-RP50
AW-RP120G	AW-RP120
AK-HRP200G	AK-HRP200

## ■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。



# もくじ

---



安全上のご注意	4
設置上のご注意	6
設置の前に	8
IR IDスイッチの設定	8
サービススイッチの設定	8
設置・接続のしかた	9
WV-Q105A (別売品) を使用する場合	13
ネームプレートの向きを変える	14
カメラの取り外しかた	15
据え置き設置のしかた (取付金具を使用する場合)	16
据え置き設置のしかた (取付金具を使用しない場合)	18
デスクトップに設置する場合	18
三脚に取り付ける場合	18
接 続	19
HDモニターとの接続	19
コントローラー (AW-RP120/AW-RP50/AK-HRP200のいずれか) との接続	20
システム例1 (シリアル制御)	21
システム例2 (IP制御)	22
システム例3 (IP映像伝送、PoE+)	23
システム例4 (市販コントローラーとの接続 RS-232Cデジチェーン接続)	24
外形寸法図	25

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 **警告**

設置するときは…

	<p>■下記の場所には設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所</li><li>● 振動や衝撃の加わるおそれのある所</li><li>● 暖房機器の熱風が当たる所</li><li>● エアコンの下など、水滴がかかるおそれがある所</li><li>● 塩害や腐食性ガスが発生する所 (火災や感電、落下の原因になります。)</li></ul>
	<p>■工事専門業者以外は高所への取り付け工事を行わない (工事の不備により、落下してけがの原因となります。)</p>
	<p>■金具を分解したり、改造しない (こわれたり落下して、けがの原因となります。)</p>
	<p>■ケーブルをステップルで固定しない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■総質量に耐える場所に取り付ける (取付場所の強度が不十分など、落下や転倒などでけがの原因になります。) ⇒ 十分な強度に補強してから取り付けてください。</p>
	<p>■振動のないところに設置する (取り付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因になります。)</p>
	<p>■施工説明書(本書)に従って、床/天井にしっかりと取り付ける (落下などでけがの原因になります。)</p>
	<p>■専用の取付金具を使用する (落下によるけがの原因になります。) ⇒ 設置の際は、付属の専用取付金具を使用してください。</p>
	<p>■落下防止対策を施す (落下によるけがの原因になります。) ⇒ 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。</p>
	<p>■ねじや固定機構はしっかりと締め付ける (締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。) ⇒ 「設置上のご注意」(→6~7ページ)、「設置・接続のしかた」(→9~13ページ)を参照してください。</p>
	<p>■配線は、電源を切ってから行う (感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。)</p>

 **注意**



■ **放熱を妨げないように取り付ける**

(放熱を妨げると火災の原因になります。)

■ **取り付けねじが床／天井内部の電気配線に接触しないように設置する**

(感電の原因になります。)

# 設置上のご注意

この施工説明書に従わない設置、取り付けによる事故、損害については、当社は一切の責任を負いません。

## 工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。  
また、4～5ページの「安全上のご注意」は重要な内容ですので、必ずお読みください。  
工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しいただき、保管いただきますようお願いいたします。

### ■ 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

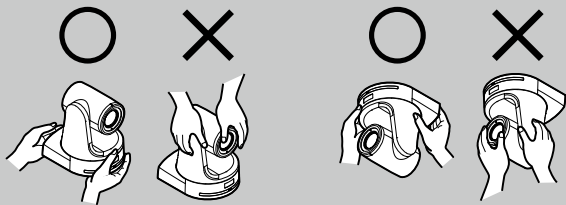
### ■ 本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。  
長時間直射日光のあたるところや、冷暖房機の近くには設置しないでください。  
変形、変色または故障、誤動作の原因になります。また水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

### ■ 本機は吊り下げおよび据え置きにてご使用ください 横向きや傾けた状態での使用はおやめください。

#### (NOTE)

- 付属の取付金具を取り付ける金具取付ねじ4本(M4)は、必ず付属のものを使用してください。  
木ねじおよびくぎなどは使用しないでください。  
コンクリート天井の場合は、アンカーボルト(M4用)またはAYプラグボルト(M4用)で固定してください。  
**推奨締付トルク M4 : 1.47 N・m {15 kgf・cm}**
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり294 N {30 kgf} 以上が必要です。
- 石膏ボードなど強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売の天井直付金具WV-Q105Aを使用してください。
- 別売の取付金具を使用する場合、使用する取付金具の取扱説明書をお読みください。
- カメラヘッド部分を持って作業しないでください。故障の原因になります。



据え置き設置のとき

吊り下げ設置のとき

### ■ 設置場所について

揺れない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。  
お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。  
強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に設置してください。  
強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

### ■ 以下のような場所での設置および使用はしないでください

- 壁面(横向きの設置)
- 雨や水が直接かかる場所(軒下なども含む)
- 厨房など蒸気や油分が多い場所
- 屋外や40℃を超える暑い場所
- 0℃を下回る寒い場所
- 湿度が85%以上の場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所(本機は車載用ではありません。)
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

### ■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への冷房や暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

### ■ 本機の設置には、必ず指定の金具およびねじを使用してください

- 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- 本機に付属の取付金具や取付ねじは、改造しないでください。

AW-HE130 本体	取り付け条件					
	適合取付金具			天井との取り付け		
質量	品番	質量	取り付け	推奨ねじ	ねじ数	最低引抜強度 (ねじ1本あたり)
約2.8 kg (取付金具除く)	直付け(付属品)	約0.3 kg	吊り下げ/据え置き	M4ねじ(付属品)	4本	294 N {30 kgf} ・カメラ本体を含めた総質量の5倍以上の取り付け強度を確保してください。
	WV-Q105A (別売品)	約0.15 kg	天井用	M4ねじ (WV-Q105A付属品)	4本	

### ■ 設置を行う前に、必ず電源プラグを抜いてください

設置には、必ず付属の部品を使用してください。  
取付金具の分解、改造はしないでください。

### ■ 取付ねじの締め付けについて

- ねじやボルトは、取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- ねじやボルトを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- 所定の工具にて確実に締め付けてください。
- ねじの締め付けの際は指定のトルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

### ■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

本機の取り外しかたについては、「カメラの取り外しかた」(→15ページ)を参照してください。

### ■ 設置または移設・撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

カメラヘッド部を持ったり回したりすると、故障の原因になります。

### ■ 本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください

### ■ 付属の専用ACアダプターおよびACコードを使用してください

ACアダプターとACコードは、インレットに確実に接続してください。

### ■ ACアダプターの設置について

- 天井板などに直置きしないでください。  
雨漏りなどで水たまりができた際に大変危険です。  
補強のチャンネル材の、ほこりなどがたまらない下面などにしっかりと固定してください。  
(→13ページ)
- 落下の危険がないようにしっかりと固定してください。  
ACアダプターの質量(約0.3 kg)に十分耐えられる強度で固定してください。

### ■ 付属のACアダプターは、主電源コンセントの近くに設置し、簡単に電源プラグの抜き差しができる状態にしてください

天井のコンセントなどほこりがたまる場所で接続する場合には、トラッキング対策のため、電源プラグのほこりなどを定期的に取り除いてください。

### ■ 電源スイッチについて

本機に電源スイッチはありません。電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。電源を入れるとパン・チルト・ズーム・フォーカスの各動作が実行されます。\*1 また、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

\*1 工場出荷時は、Standbyモードに設定されています。はじめて電源を入れたときはStandbyモードの解除を行ってください。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

### ■ ACコードの接続について

ACアダプターのACコードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。  
ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。
- (3) ACアダプターは、電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。

### ■ アース(接地)について

ご使用前に、SIGNAL GNDとのアース(接地)が正しく確実に取り付けられていることをご確認ください。

### ■ ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線(電灯線)と信号ケーブルを1 m以上離して配線工事を行うか、別々の金属管に通す配管工事を行ってください。(金属管は必ずアースを取ってください。)

### ■ 電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界(モーターやトランス、電力線など)の近くでは、映像がゆがんだり、ノイズが入ったりすることがあります。

### ■ ケーブル配線時には、コネクタ部に負荷がかからないようにしてください

故障の原因になります。

### ■ 放熱について

本機は、本体表面から放熱させています。  
壁などに囲まれ、熱がこもる場所には設置しないでください。また、底面に放熱しているため熱くなりますが、異常ではありません。

### ■ PoE+による電源供給について

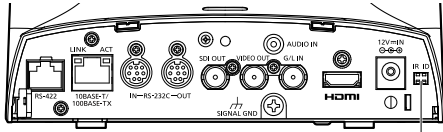
PoE+ (IEEE802.3at 準拠) 対応のハブ、または給電装置を使用してください。

## 設置の前に

本機の設置を行う前に、あらかじめ、本機端子面、本機底面のスイッチ類の設定を行ってください。  
本機の設置後は、スイッチ類の設定や変更が困難場合があります。

### IR IDスイッチの設定

IR IDスイッチは、本機端子面にあります。



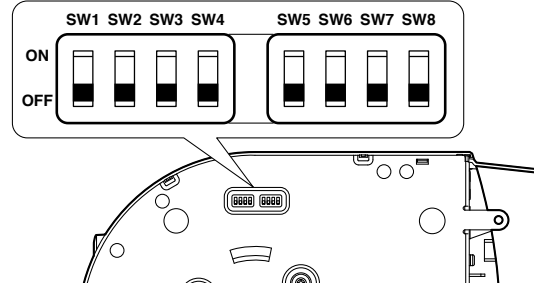
IR IDスイッチ

CAM1	CAM2	CAM3	CAM4
IR ID	IR ID	IR ID	IR ID

ワイヤレスリモコン(別売品)のリモコンIDを選択します。  
IR IDスイッチの設定「CAM1」～「CAM4」が、ワイヤレスリモコンの  
<CAM1> ～<CAM4> ボタンに対応しています。

### サービススイッチの設定

サービススイッチは、本機底面にあります。



機能		OFF	ON	工場出荷時の設定
SW1	カメラアドレス設定(標準シリアル通信)	SW1 ~ SW3 の説明参照		OFF
SW2				OFF
SW3				OFF
SW4	通信方式	Panasonic 独自シリアル通信	標準シリアル通信	OFF
SW5	工場調整用のため、必ずOFF固定でお使いください。			OFF
SW6	赤外線出力OFF	無効	有効	OFF
SW7	通信ボーレート	9600 bps	38400 bps	OFF
SW8	通信端子	RS-422	RS-232C	OFF

#### (NOTE)

- スwitchの設定は本機の電源を入れる前に行ってください。
- カメラアドレス設定スイッチを「AUTO」に設定したカメラと「1」～「7」に設定したカメラの混在使用はできません。
- カメラアドレスの手動設定で複数のカメラを同一アドレスに設定し、1つのコントローラーで複数のカメラを同時に操作することはできません。

#### SW1 ~ SW3(カメラアドレス設定スイッチ)

カメラのアドレスを設定します。  
通常は「AUTO」に設定しておきます。「AUTO」に設定しておく、コントローラーからの操作によって、カメラ接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。  
アドレスを手動設定する場合は、このスイッチを以下のように設定します。

アドレス	AUTO	1	2	3	4	5	6	7
SW1	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
SW2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
SW3	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF

#### SW4(通信方式選択スイッチ)

通信方式を選択します。  
ON にすると標準シリアル通信で動作します。  
OFF にするとパナソニック独自シリアル通信で動作します。

#### SW5(メンテナンス用スイッチ)

OFF 固定です。  
触らないでください。

#### SW6(赤外線出力切換スイッチ)

ON にすると赤外線出力が有効になります。リモコン受光部で受信した信号が、RS-232C IN端子の7番ピンと8番ピンから出力されます。  
OFF にすると信号は出力されません。

#### SW7(通信ボーレート切換スイッチ)

ON にすると38400 bps になります。  
OFF にすると9600 bps になります。

#### SW8(通信端子切換スイッチ)

ON にするとRS-232C が有効になります。  
OFF にするとRS-422 が有効になります。



# 設置・接続のしかた

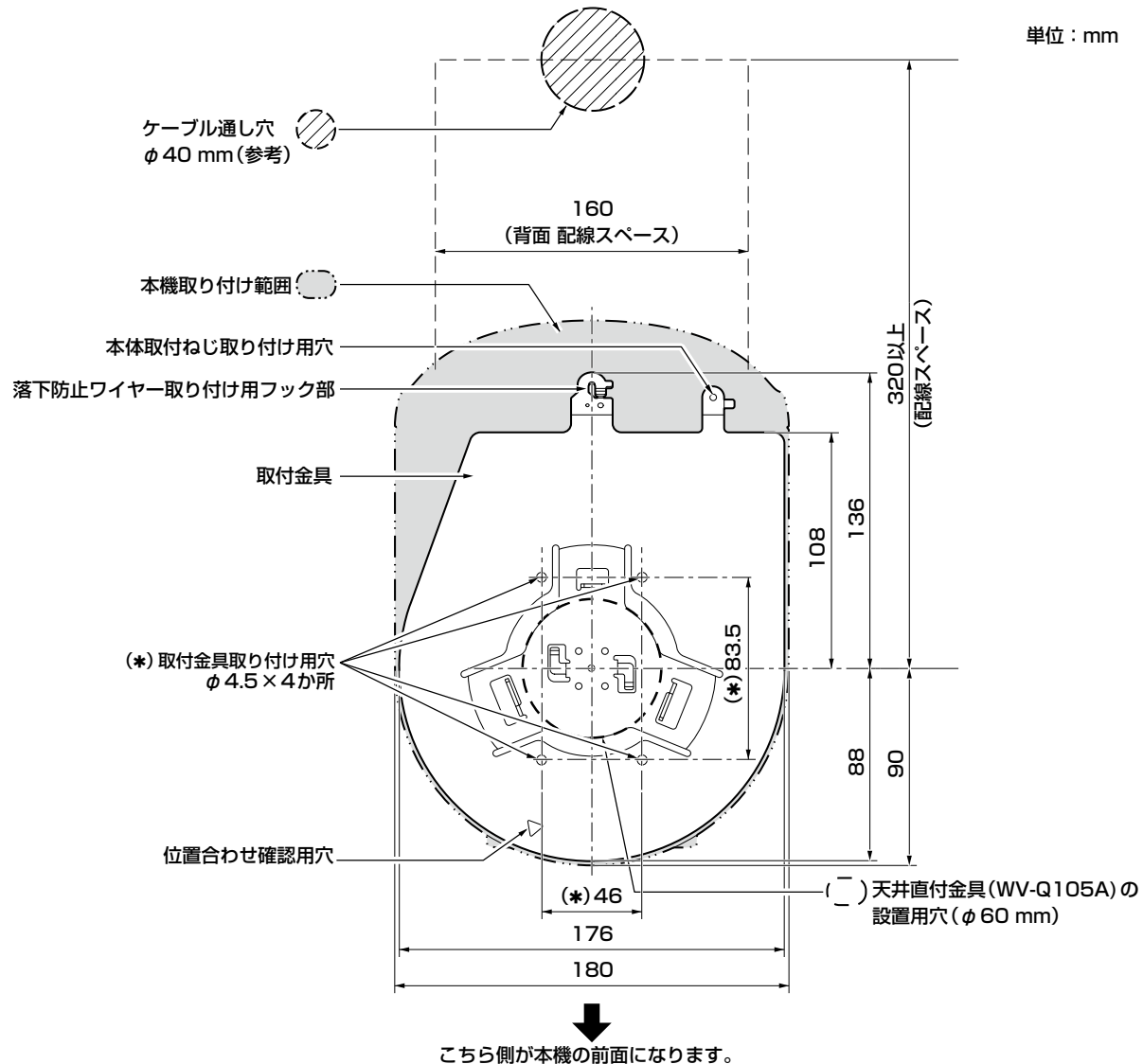
「安全上のご注意」(→4～5ページ)および「設置上のご注意」(→6～7ページ)を必ずお読みください。

ここでは、吊り下げ設置の手順で説明していますが、据え置き設置の場合も同じ要領で設置を行います。

天井板の強度が確保できない場合は、コンクリート天井と天井板の間に、アンカーボルトで支える方式の取付金具を使用してください。本機は、コンビネーションカメラ専用の天井直付金具 WV-Q105A に対応しています。この金具を使用して設置してください。(→13ページ)  
その場合、天井板に天井直付金具設置用の穴(φ60 mm)を開ける加工が必要になります。  
また、機器設置部の周囲に点検口などを設け、設置・配線を行うことを推奨します。  
付属品については、取扱説明書に記載しています。

## 1. 取り付けスペースを確認する

- イラストを参考にして、本機の取り付け範囲と背面の配線スペースを十分考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めます。
- イラスト中の(\*)が、取付金具取り付け用穴の位置と寸法です。



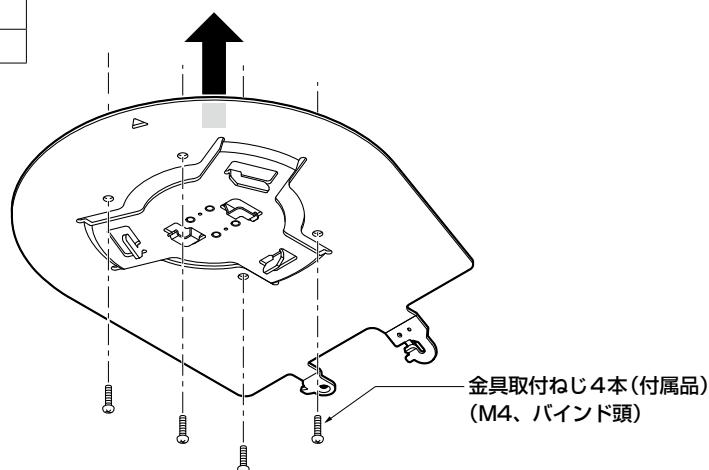
### 〈NOTE〉

- 事前に天井内でLANケーブル、HDMIケーブル、RS-232Cケーブル、ACアダプターケーブル、同軸ケーブルを接続し、ケーブル通し穴より各ケーブルを引き出してから、本体の設置・接続の準備をしてください。
- 天井で使用使用するコンセントに関しては、ほこりなどによるトラッキングの防止策を必ず施してください。

## 2. 取付金具を設置面に取り付ける

- ・ 付属の金具取付ねじ (M4、バインド頭：長さ 10 mm) を使います。
- ・ ねじの締め付けトルクは、所定の工具を使って確実に取り付けてください。

ねじ径	締め付けトルク
M4	1.47 N・m {15 kgf・cm}

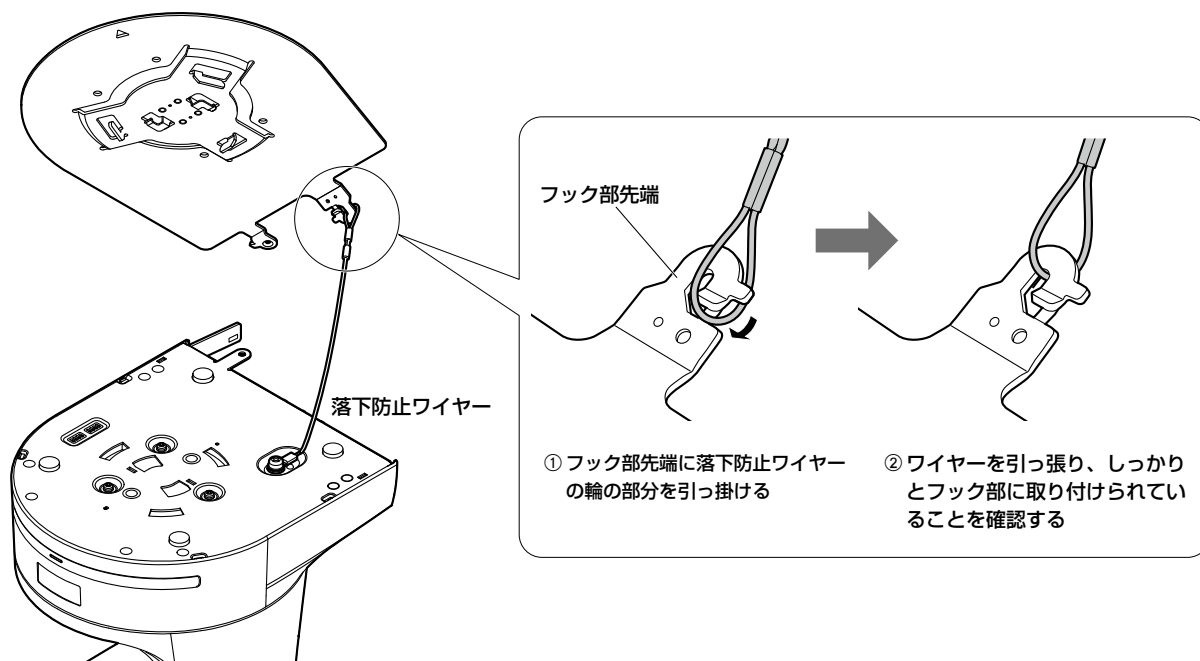


### 〈NOTE〉

- ・ 付属のねじ以外 (木ねじ、くぎなど) は使用しないでください。

## 3. 落下防止ワイヤーを取り付ける

- ・ 本機の底面に取り付けてある落下防止ワイヤーを、取付金具のフック部の先端よりワイヤーの輪の部分をつっかけます。
- ・ 落下防止ワイヤーを引っ張り、確実にフック部に取り付けられていることを確認します。



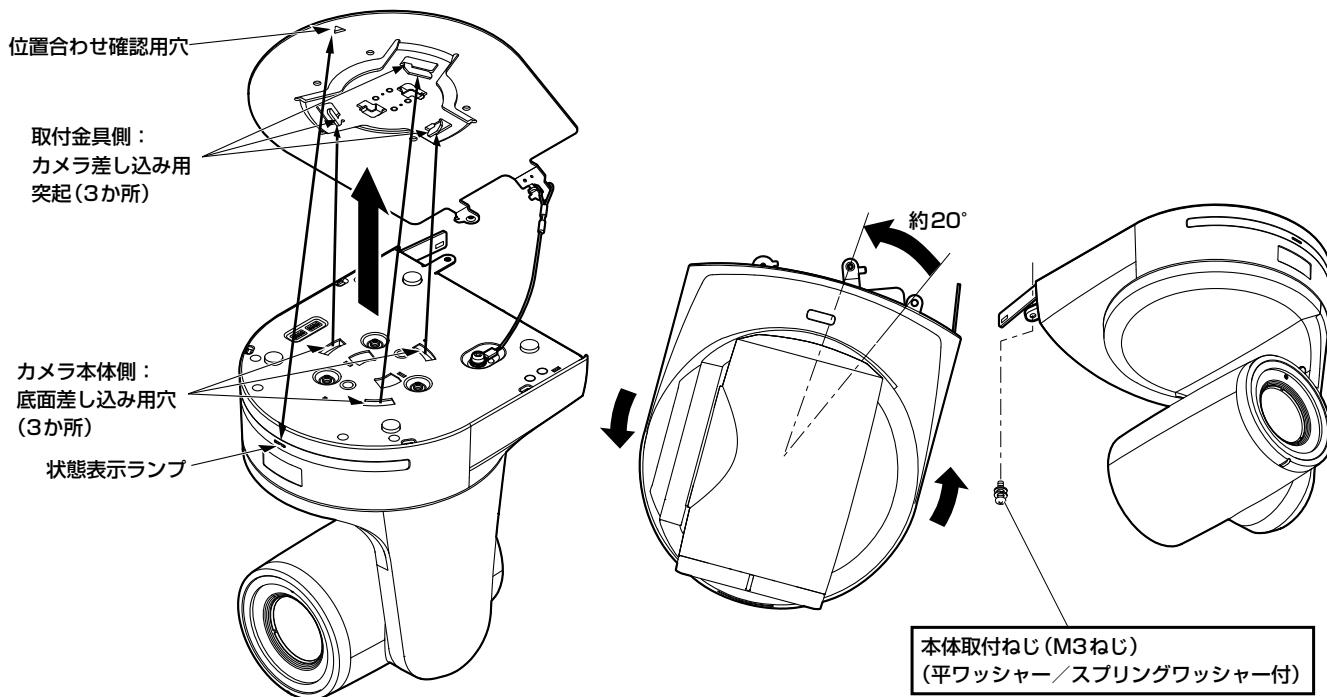
### 〈NOTE〉

- ・ 故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。
- ・ 落下防止ワイヤーは、本機を吊り下げることを想定し設計されていますので、本機以外の負荷は加えないでください。

#### 4. 本機を取り付ける

- ・ 状態表示ランプと位置合わせ確認用穴の位置を合わせます。
- ・ カメラ本体の底面差し込み用穴を取付金具側のカメラ差し込み用突起に合わせてしっかりと押し込み、本体を矢印の方向に約20°回します。
- ・ 本機と取付金具を付属の本体取付ねじ (M3) で固定します。
- ・ 下記のねじ締め付けトルクで、所定の工具を使って確実に取り付けてください。
- ・ ねじにゆるみのないことを必ず確認してください。

ねじ径	締めトルク
M3	0.78 N・m (8 kgf・cm)



#### 〈NOTE〉

- ・ 故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。
- ・ 付属のねじ以外は使用しないでください。
- ・ 傾きやぐらつきがなく、しっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ・ 必ずケーブル類の接続前に本体取付ねじで固定をしてください。

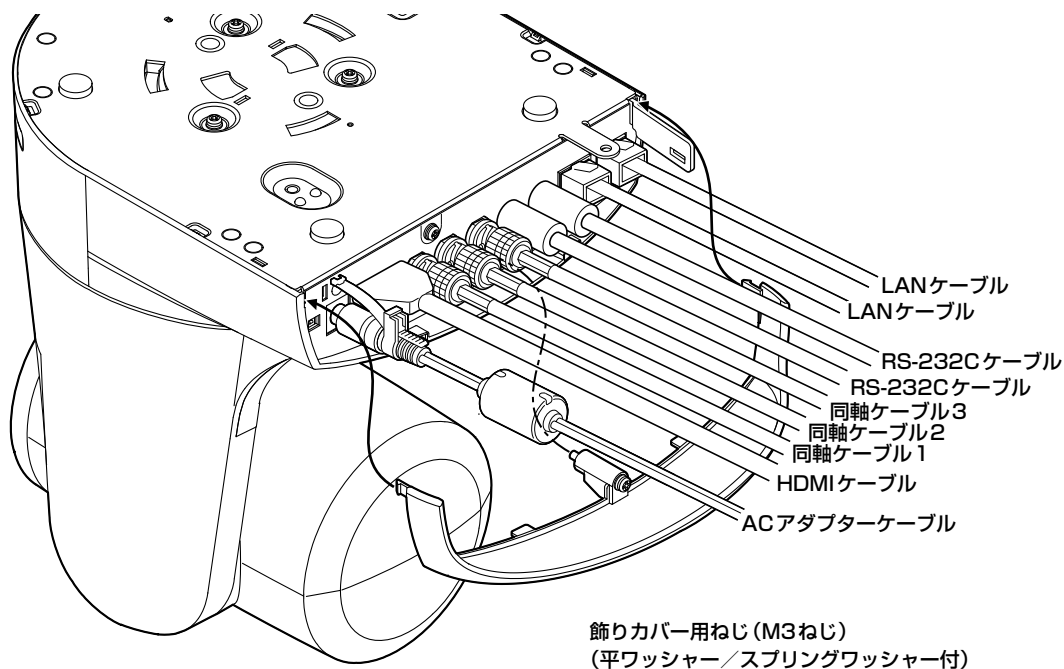
#### 5. 取り付けの確認をする

以下の点についてご確認ください。

- ・ 本体取付ねじが確実に取り付けられていること
- ・ 傾きがなく、きちんと取り付けられていること
- ・ ぐらつかないこと
- ・ カメラ台座部を回しても回らないこと

## 6. 背面のコネクター類を接続する

ACアダプターケーブルは、ケーブル抜け止めクランプで固定してください。  
同軸ケーブルを3本接続する場合は、先に同軸ケーブル2を接続してください。



**●ACアダプターケーブルの固定方法**

① ケーブル抜け止めクランプを仮止めする。

ケーブル抜け止めクランプ

ケーブル抜け止めクランプをこの範囲に仮止めする。

② ケーブル抜け止めクランプを固定する。

ベルト部分

ベルト部分を持ちながらケーブル抜け止めクランプを止まるまでスライドさせ、しっかりと固定する。

## 7. 飾りカバーを取り付ける

- 飾りカバーのツメ2か所を背面パネルの両側にある取り付け用角穴にはめ込みます。
- 飾りカバーに付属のねじ (M3 × 25 mm) で固定します。

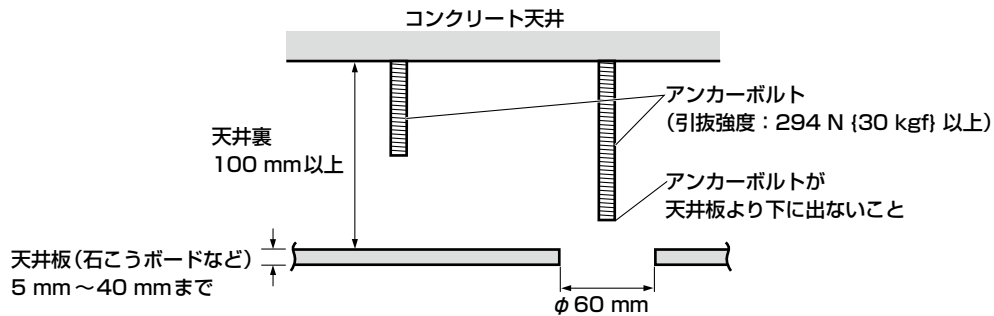
ねじ径	締付トルク
M3	0.78 N · m {8 kgf · cm}

**〈NOTE〉**

- 飾りカバーのツメが完全に入り込み、がたつきがないことを確認してください。
- 盗難防止ワイヤーを取り付ける場合は、飾りカバーを取り付けた後に取り付けてください。

**WV-Q105A (別売品) を使用する場合**

機器設置部の周囲に点検口などを設け、設置・配線を行うことを推奨します。  
 設置場所は、カメラ取り付け時の総質量 (約3.1 kg) に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けください。  
 天井裏の高さが、100 mm以上あるところでご使用ください。  
 天井板の厚さは、5 mm～40 mmの範囲で取り付けが可能です。  
 必ず落下防止ワイヤー (WV-Q105Aに付属) を使って取り付けてください。



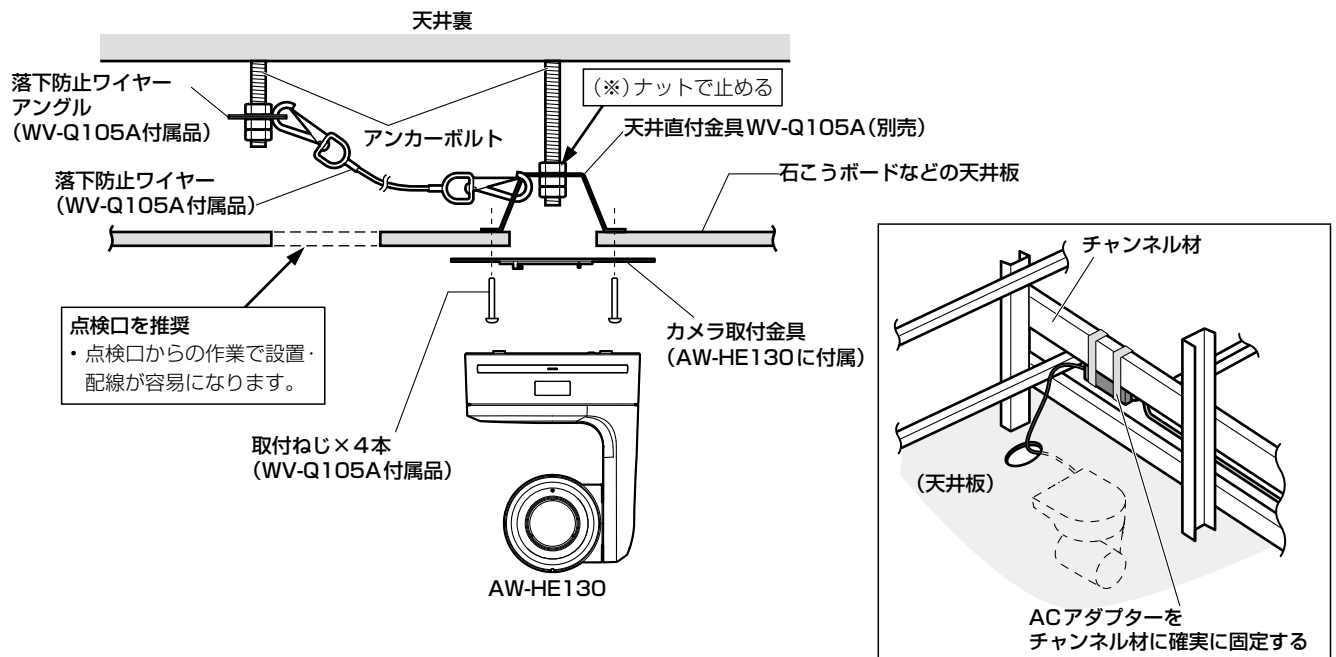
**1. 天井直付金具 WV-Q105A の取扱説明書を参照し、WV-Q105A および WV-Q105A に付属の落下防止ワイヤーアングル、落下防止ワイヤーをアンカーボルトに取り付ける**

**アンカーボルトと天井直付金具の取り付け (※)**

天井直付金具と天井板とを1か所で仮止めして、天井直付金具とアンカーボルトの上下位置を規制してからナット止めすると、作業がやりやすくなります。

**2. 手順1で仮止めたねじを一度外してから、天井直付金具 WV-Q105A のねじ穴に合わせて AW-HE130 のカメラ取付金具を取り付ける**

- ・ 取付ねじは、WV-Q105A に付属の取付ねじ (プラス頭 M4-L60 接着剤付きねじ) を使用してください。
- ・ ACアダプターは、天井裏のチャンネル材の、ほこりなどがたまらない下面などにしっかりと固定してください。
- ・ 天井板などに直置きしないでください。

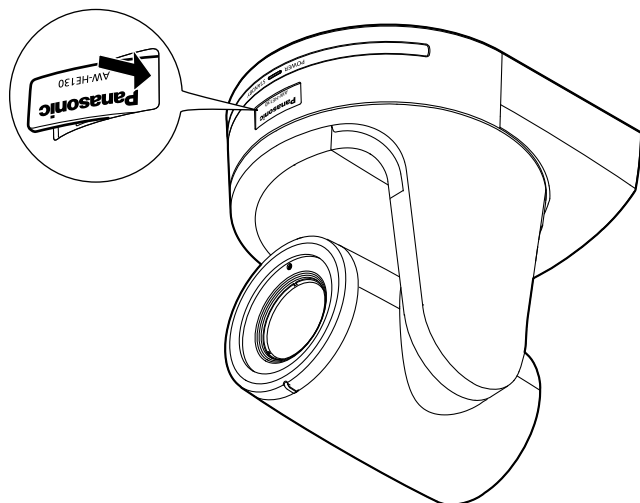


**3. 10 ページの手順3以降の手順に従って AW-HE130 を設置する**

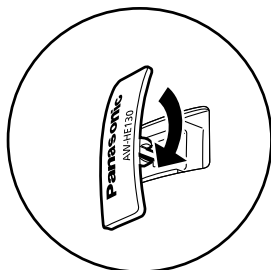
## ネームプレートの向きを変える

本機を天井に取り付けると、ネームプレートが逆さまになってしまいます。  
本機のネームプレートは、向きを変えることができます。

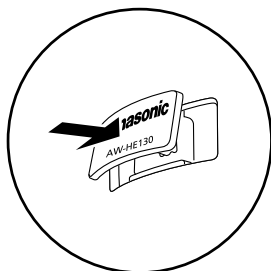
### 1. 矢印の部分を押し込んで、ネームプレートを引き出す



### 2. ネームプレートの向きを変える



### 3. ネームプレートを押し込む



# カメラの取り外しかた

## 1. プレーカーや電源供給を切る

## 2. 飾りカバーを取り外す

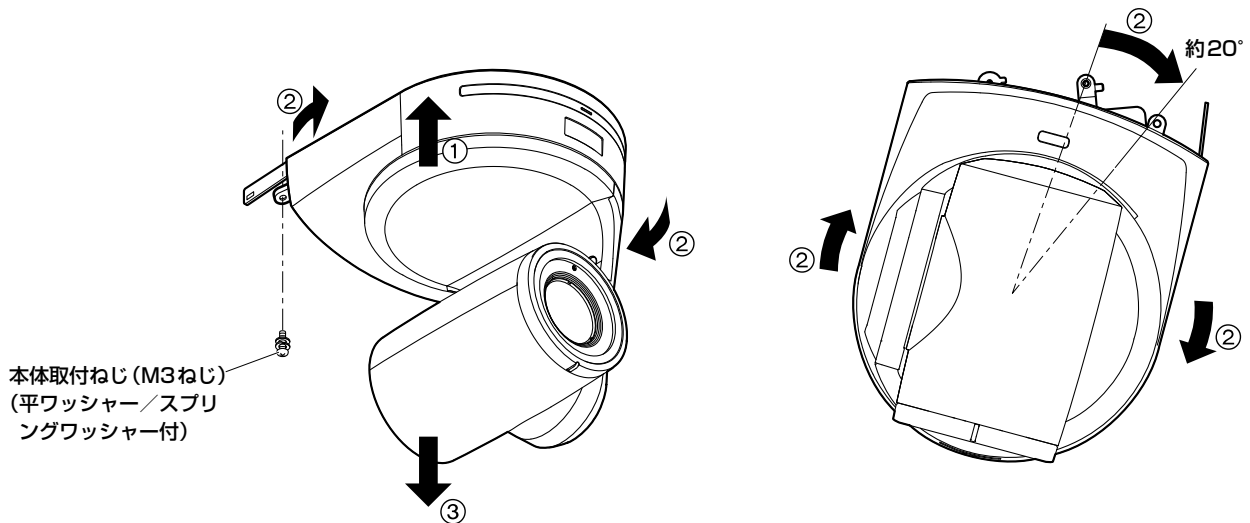
- ・カバーを固定している飾りカバー用ねじ (M3ねじ、1か所) を取り外してください。
- ・カバーのツメの部分を押し、カバーを外してください。

## 3. ケーブル類を取り外す

ACコード、映像ケーブル、制御ケーブルなどを取り外してください。

## 4. 本機と取付金具とを固定している本体取付ねじを取り外す

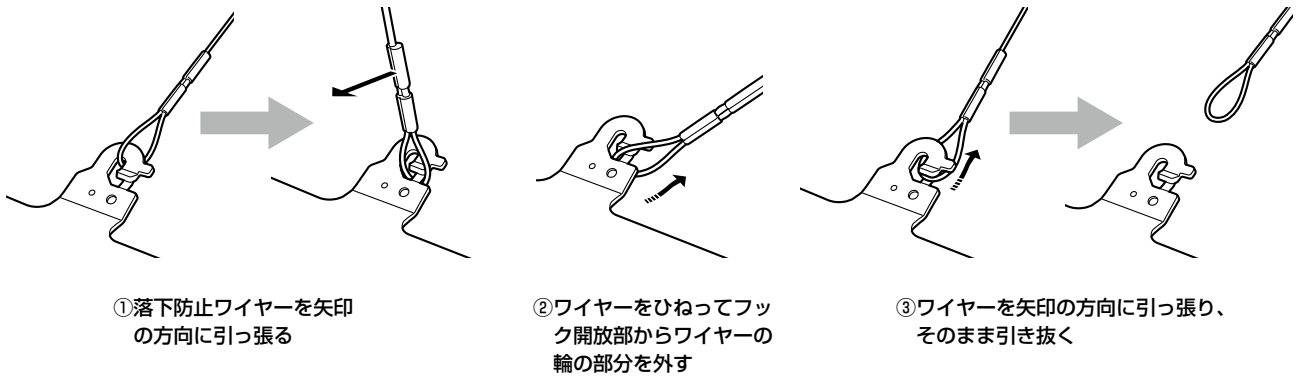
## 5. 本機を押し込み(①)、取り付け時とは逆の方向に約20°回して(②)、本機を取り外す(③)。



### 〈NOTE〉

- ・故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。

## 6. 落下防止ワイヤーを取付金具より取り外す



## 据え置き設置のしかた(取付金具を使用する場合)

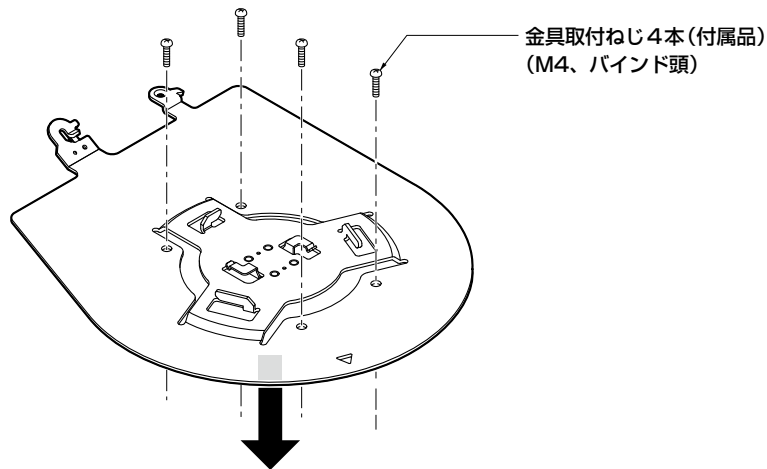
吊り下げ設置の手順(→9～12ページ)と同様です。

### 1. 取り付けスペースを確認する

〈NOTE〉

- ・吊り下げ設置と同様に、本機を取り付けるスペースをよく確認してから設置場所を決めてください。

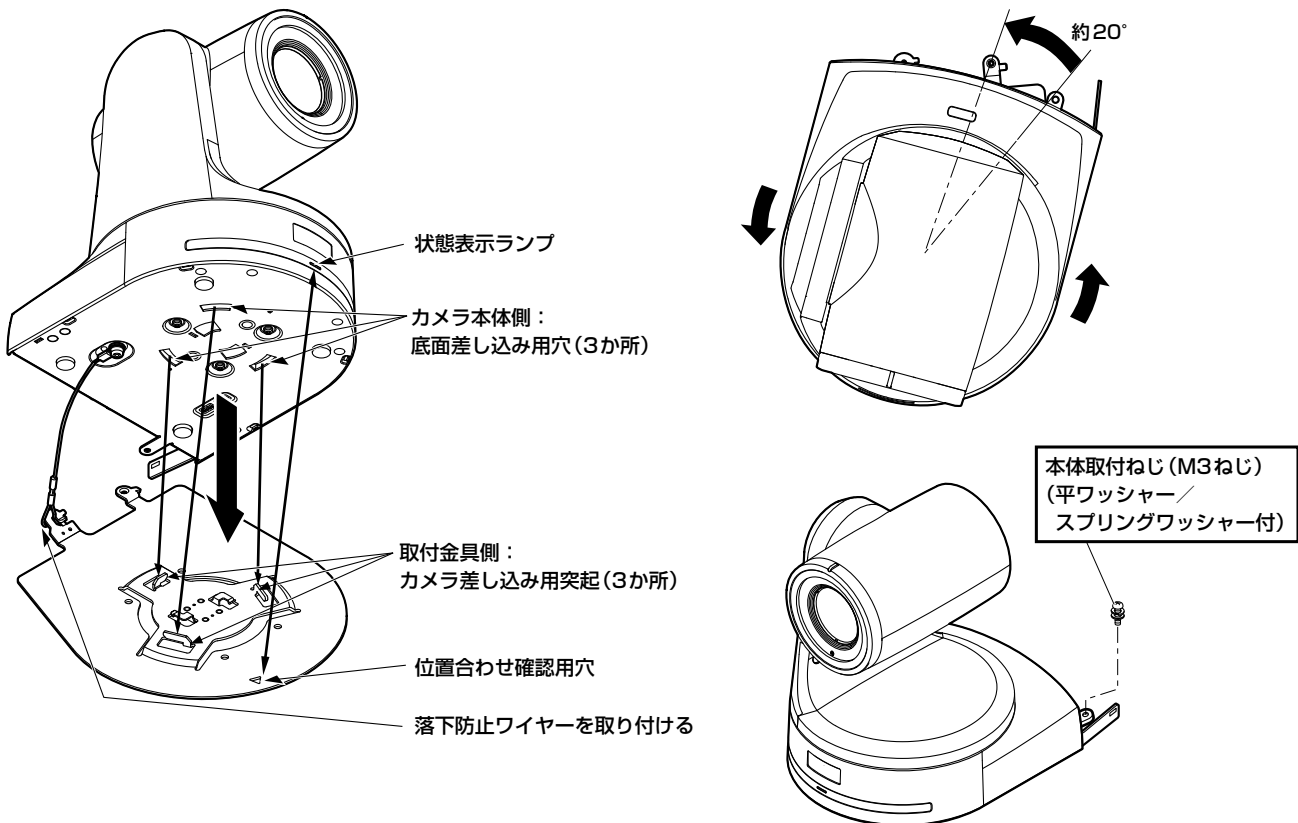
### 2. 取付金具を設置面に取り付ける



### 3. 落下防止ワイヤーを取り付ける

### 4. 本機を取り付ける

- ・状態表示ランプと位置合わせ確認用穴の位置を合わせます。
- ・カメラ本体の底面差し込み用穴を、取付金具側のカメラ差し込み用突起に合わせてしっかりと押し込み、本体を矢印の方向に約20°回します。
- ・本機と取付金具を、付属の本体取付ねじ(M3)で固定します。

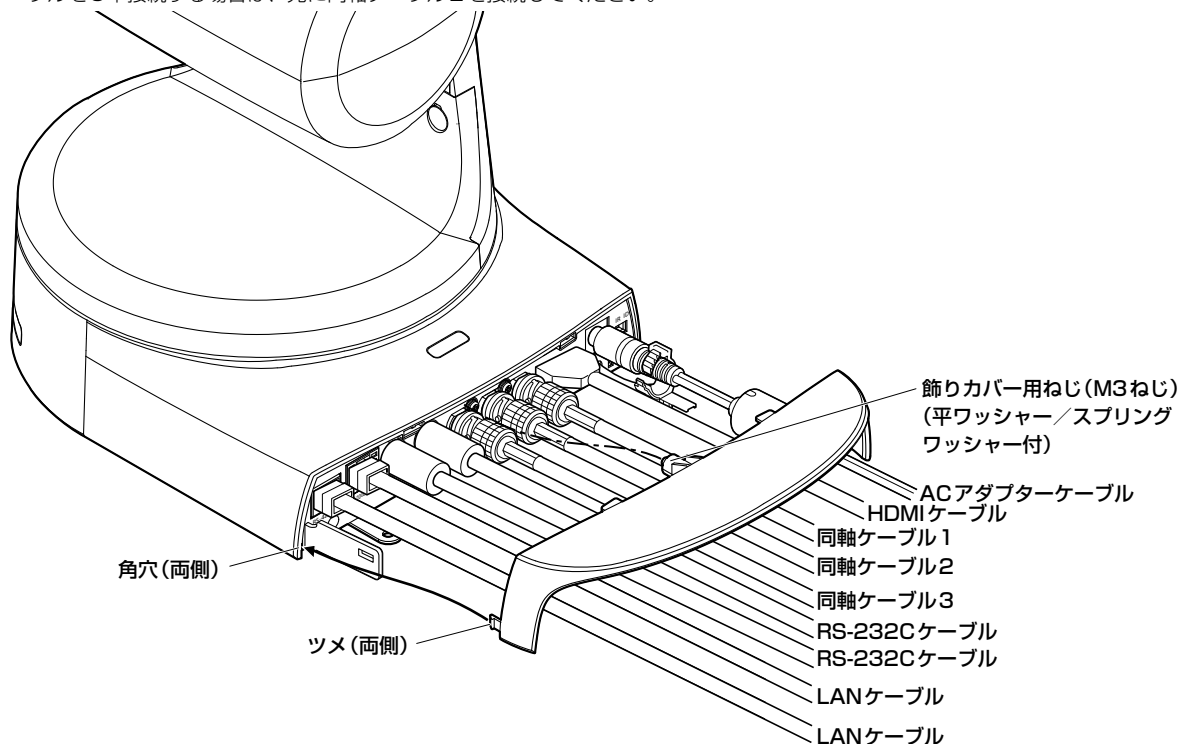




5. 取り付けの確認をする

6. 背面のコネクター類を接続する

同軸ケーブルを3本接続する場合は、先に同軸ケーブル2を接続してください。



**● ACアダプターケーブルの固定方法**

① ケーブル抜け止めクランプを仮止めする。

ケーブル抜け止めクランプ

ケーブル抜け止めクランプをこの範囲に仮止めする。

② ケーブル抜け止めクランプを固定する。

ベルト部分

ベルト部分を持ちながらケーブル抜け止めクランプを止まるまでスライドさせ、しっかりと固定する。

7. 飾りカバーを取り付ける

- ・ 飾りカバーのツメ2か所を背面パネルの両側にある取り付け用角穴にはめ込みます。
- ・ 飾りカバーに付属のねじ (M3 × 25 mm) で固定します。

ねじ径	締付トルク
M3	0.78 N · m {8 kgf · cm}

〈NOTE〉

- ・ 飾りカバーのツメが完全に入り込み、がたつきがないことを確認してください。
- ・ 盗難防止ワイヤーを取り付ける場合は、飾りカバーを取り付けた後に取り付けてください。

# 据え置き設置のしかた(取付金具を使用しない場合)

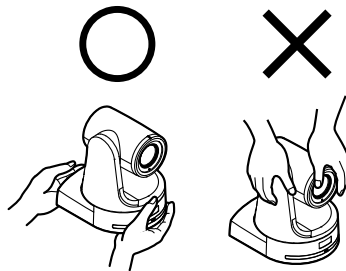
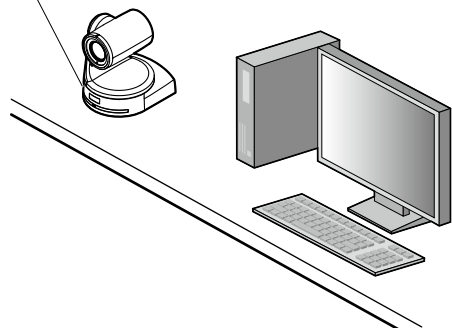
## デスクトップに設置する場合

本機は、水平に置いてください。

### 〈NOTE〉

- 揺れない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- 設置する際は、落下などに十分気をつけてください。
- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部を持ったり回したりしないでください。故障の原因になります。
- 接続したケーブルを引っかけないように注意してください。落下やけがの原因になります。

落下に注意する



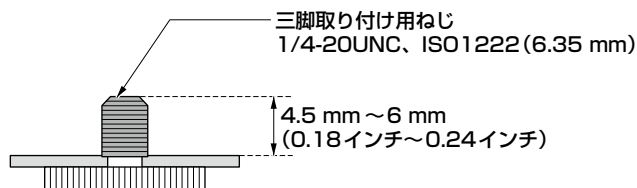
## 三脚に取り付ける場合

底面のカメラ取り付け用ねじ穴に三脚を取り付けます。

三脚は、段差のない平面に設置します。

三脚取り付け用ねじを手でしっかり締め付けてください。

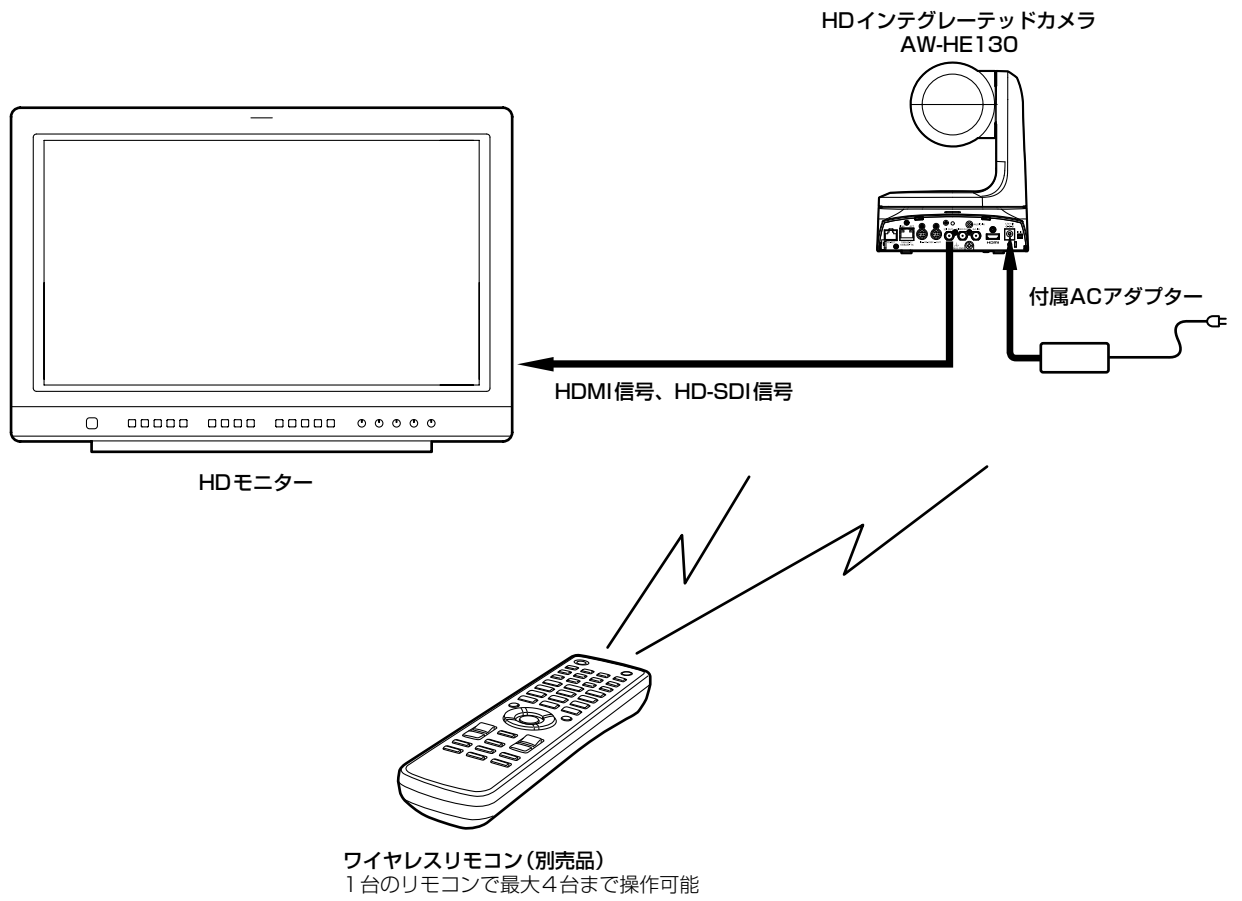
三脚取り付け用のねじは、次の規格のものを使用してください。



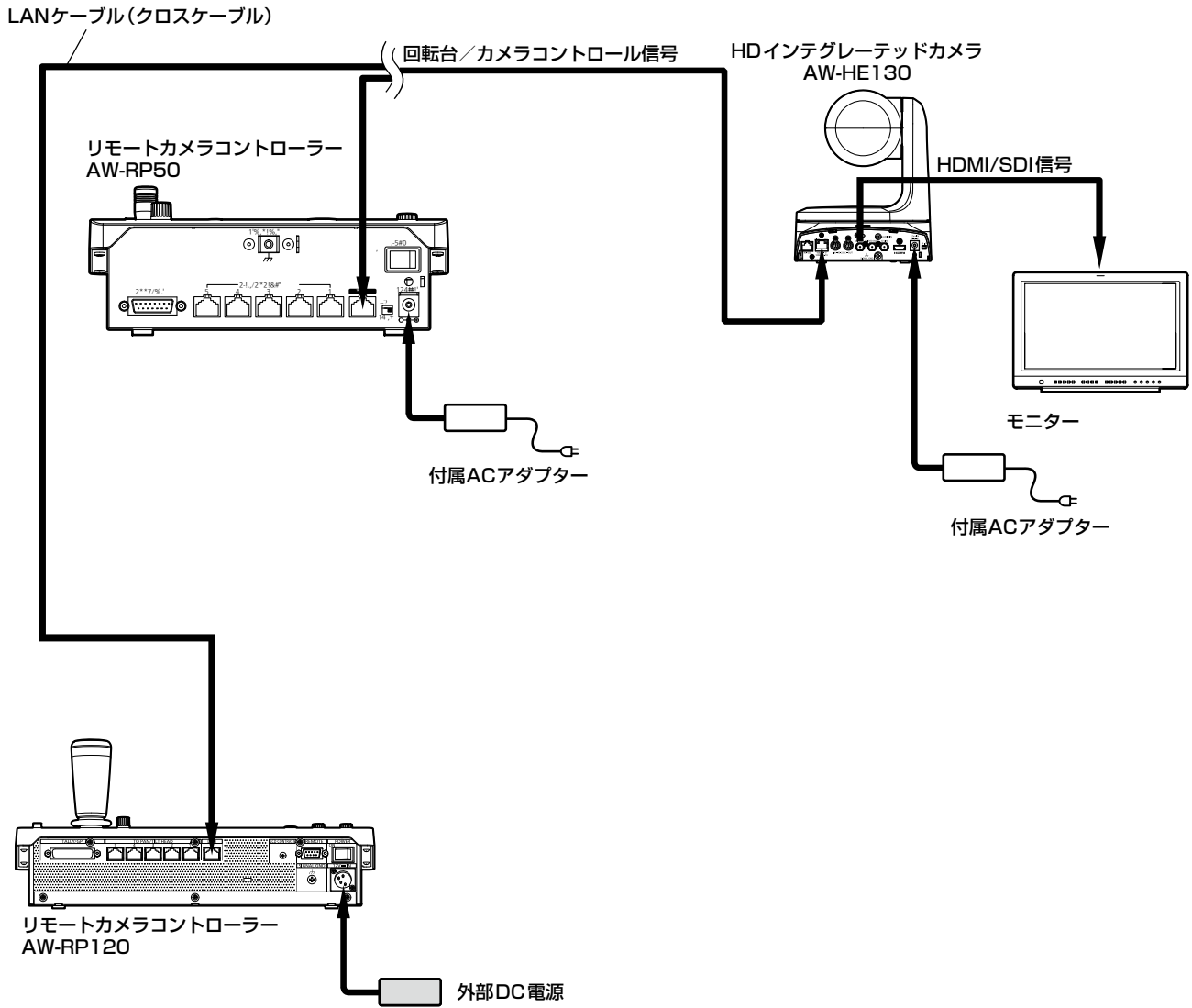
### 〈NOTE〉

- 人の通るところには設置しないでください。
- 三脚に取り付けて使用する場合は、高所に設置しないでください。
- ゆるみのないように、しっかりと取り付けてください。落下やけがの原因になります。
- 長期使用の場合には、転倒防止、落下防止の対策をとってください。また使用後は、速やかに片づけてください。

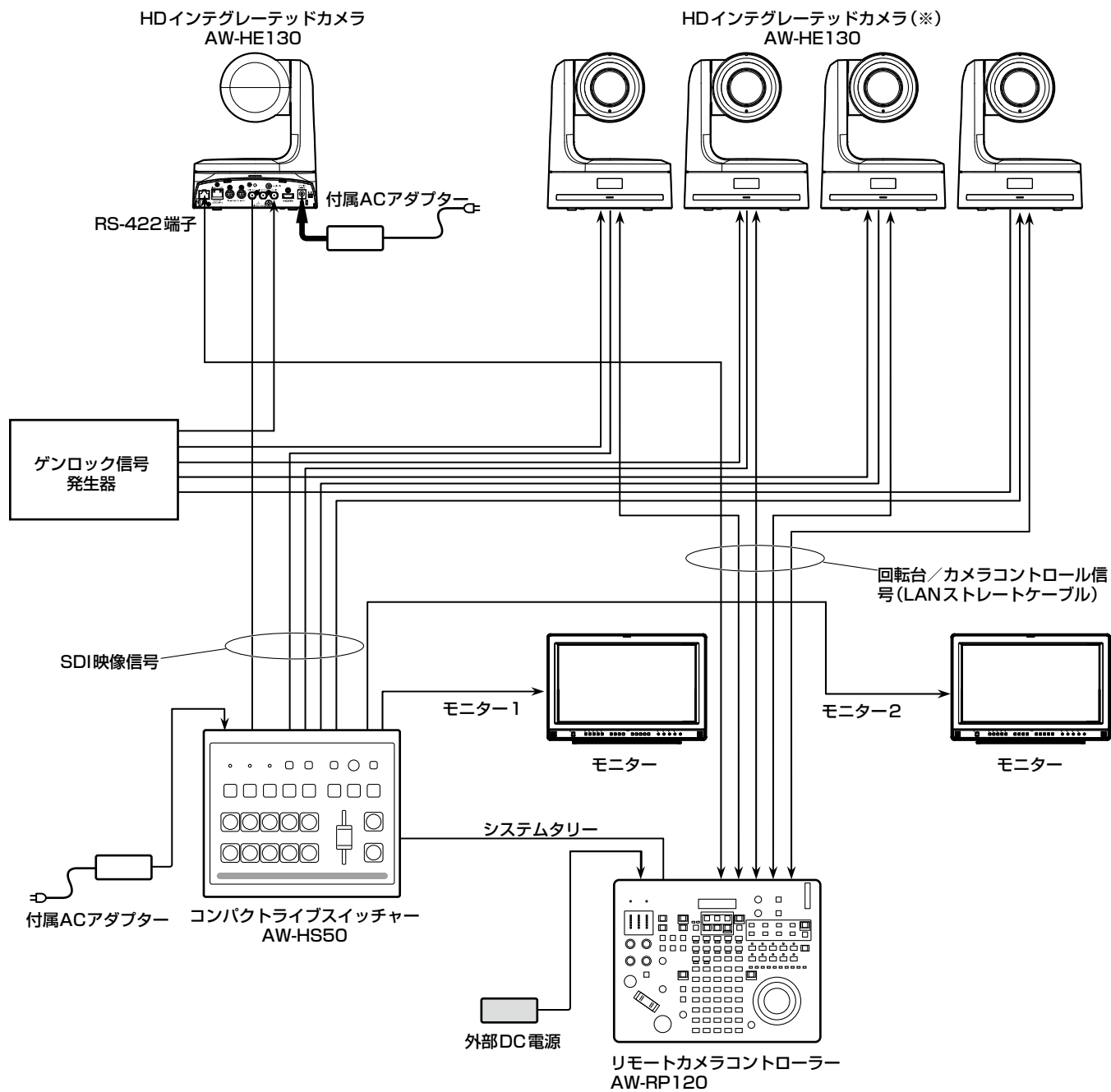
## HDモニターとの接続



コントローラー (AW-RP120/AW-RP50/AK-HRP200 のいずれか) との接続

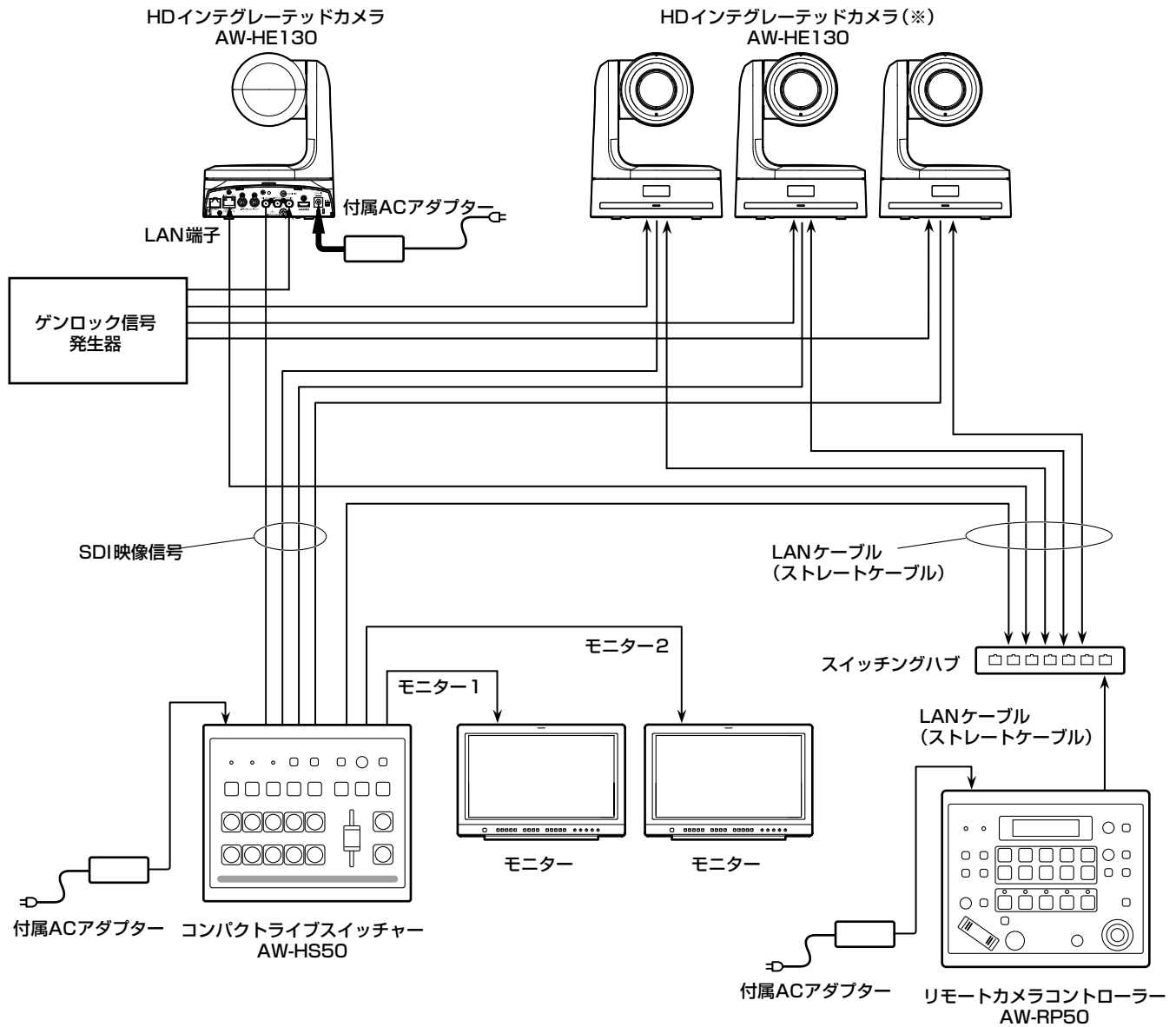


システム例 1 (シリアル制御)



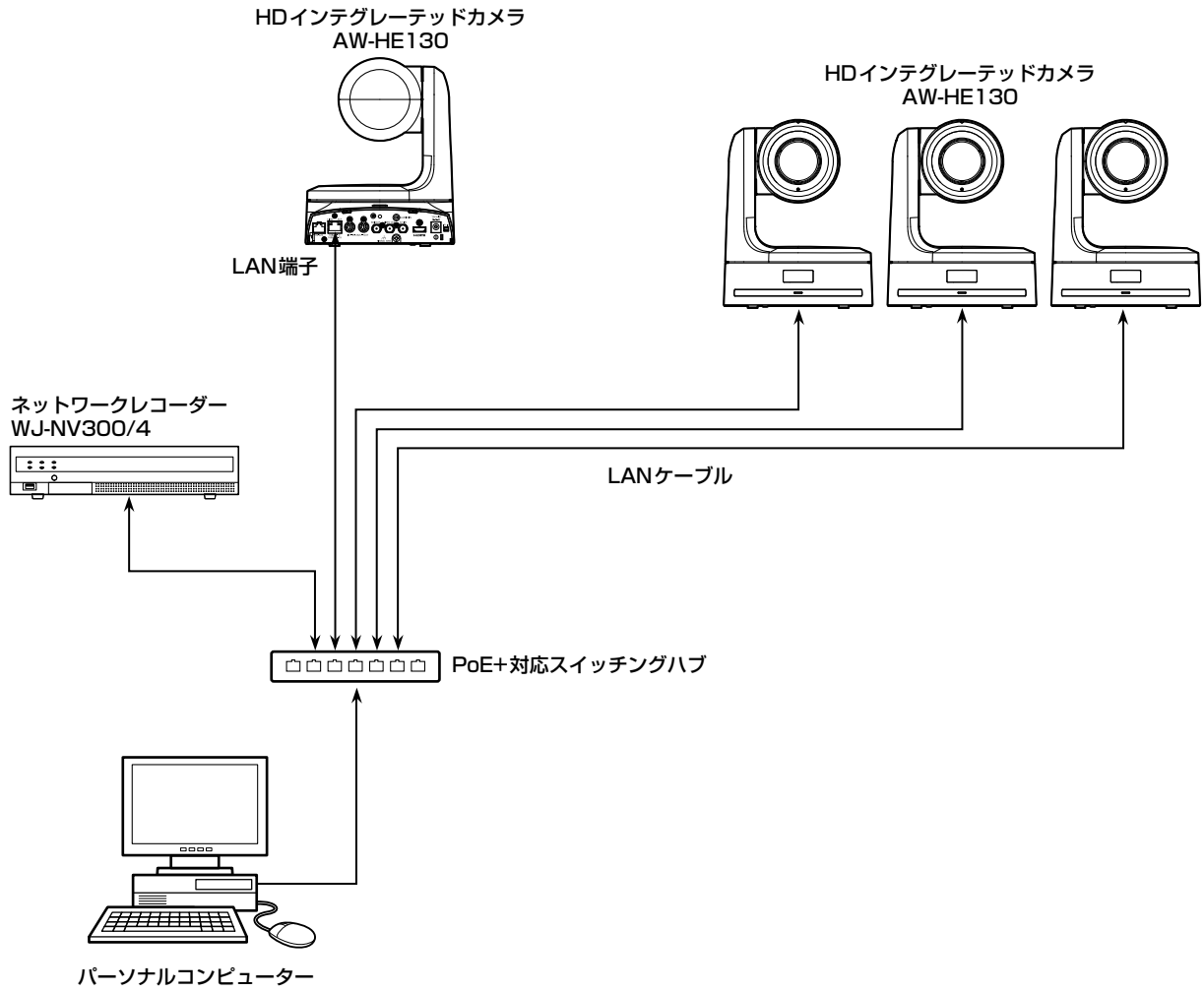
(※)付属のACアダプターのイラストは省略しています。

システム例2 (IP制御)

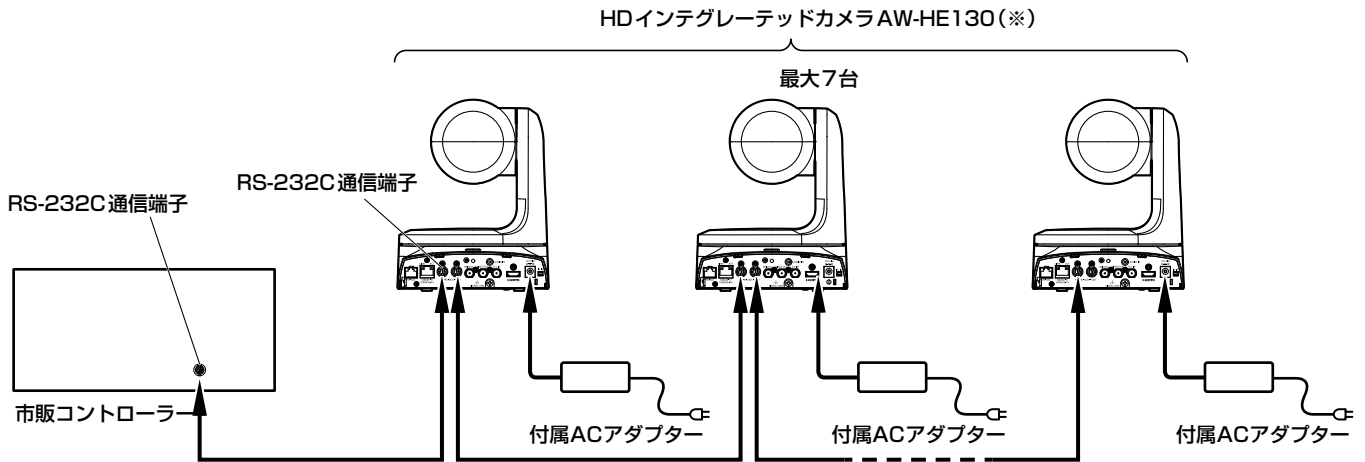


(※) 付属のACアダプターのイラストは省略しています。

システム例3 (IP映像伝送、PoE+)



システム例4(市販コントローラーとの接続 RS-232Cデジチェーン接続)



(※) 1台のコントローラーに、本機を最大7台まで接続できます。

- 本機底面のサービススイッチを設定してください。  
サービススイッチの詳細については、「サービススイッチの設定」(→8ページ)を参照してください。  
SW1 ~ SW3 : カメラアドレス「AUTO」もしくは「1」~「7」を設定してください。  
(アドレス番号は重複しないようにしてください)  
SW4 : 通信方式標準シリアル通信 (ON) に設定してください。  
SW7 : 通信ボーレート市販コントローラーに合わせて9600 bps (OFF) / 38400 bps (ON) を設定してください。  
SW8 : 通信端子RS-232C (ON) に設定してください。
- カメラメニューで次の項目を設定してください。
  1. [System] メニュー - [Protocol] - [Model Select] を表示する
  2. プロトコルの種別を [SEVIHD1]、[SBRC300]、もしくは [SBRCZ330] から選択する





パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2014